

# 保育料に値上げ中止や教室の冷房化などで市長と懇談 新年度予算の市長査定について日本共産党市議団が要望（1月18日）

## 24項目で市長に重点要望

1月10日に公表された2013年度予算財政局案は、市民要求にもとづく新規事業の多くが未計上とされるなか、保育料の値上げなど市民に新たな負担を強いる施策が盛り込まれており、暮らしに冷たい予算案と言わざるをえません。一方で四月の市長選挙を控え、河村市長が打ち上げてきた多大な費用を要する数々の大型事業は予算計上を見送りましたがこれは当然です。

総選挙で誕生した安倍政権が大型補正を含む予算編成を進めています。本市の予算編成作業も少なからず影響を受けますが、大切なのは何よりも市民の安全と暮らしを最優先に、市民の声を反映した予算編成に努めることです。しかし今回の予算編成過程ではパブリックコメントの結果も明らかにされない段階で財政局案がつくられ、予算編成への市民参加が形骸化されています。

日本共産党市議団は先に要望した重点要求をもとに

下記の要望（24項目）を提出し、市長と懇談を行い、それぞれの項目で要望しました。

## 中小企業への訪問はいいこと、と市長

市長からは、小中学校の教室冷房が1教室300万円もかかると聞いてびっくりした、中小企業へ市の職員が訪問することは基本だ、太陽光だけでなく太陽熱の活用もしたい、学童はボロボロの施設で頑張っている、保育料はベビーシッターとの兼ね合いがなあ、などと発言がありました。南京問題については、「どれだけ言われてもダメ」という回答でした。



### 2013年度予算編成（市長査定）にあたっての重点要望

（前文省略）

#### 1) 未計上とされた事業のうち切実な市民要求にもとづく事業の実施を求める

- (ア)小・中学校の普通教室の冷房化
- (イ)いじめ対策・不登校対策の充実
- (ウ)重症心身障害児者施設の整備
- (エ)街路灯への海拔表示
- (オ)瑞穂文化小劇場の建設
- (カ)民間鉄道駅舎へのエレベーター等設置補助
- (キ)議会報告会の開催など議会情報の市民への積極的発信

#### 2) 市民負担の増大と福祉など公的責任の後退につながる施策の撤回を求める

- (ア)保育料（保育所徴収金）の5.1%（二年間で10.1%）もの値上げ
- (イ)第3子以降3歳未満児の保育料無料制度への所得制限導入・有料化
- (ウ)公立保育所の社会福祉法人への移管（市立保育園の民間移管）
- (エ)留守家庭児童健全育成事業助成の削減（国基準との差額緩和措置廃止）
- (オ)トワイライトルームの実施
- (カ)障害者福祉施設運営費補助金（管理費改善費）の廃止
- (キ)生活保護適正実施推進事業の名による警官OB嘱託員の区役所配置

- (ク)中央看護専門学校の看護師養成数（看護学科定員）の削減
- (ケ)男女平等参画推進センターの女性会館への移設
- (コ)志段味図書館及び生涯学習センターへの指定管理者制度の導入

#### 3) 予算計上された事業の充実のために必要な施策をすすめる

- (ア)南京市友好都市提携35周年記念事業を意義あるものとして確実に開催するためにも、河村市長の南京大虐殺否定発言を速やかに撤回し、侵略戦争と植民地支配への真摯な反省の姿勢を示す
- (イ)中小企業振興基本条例の制定を見込んだ施策の具体化のために、市職員による中小企業への訪問調査を行い、中小企業とりわけ特別の配慮を要する小規模業所の現状と課題を把握する
- (ウ)太陽光発電の普及推進のために市施設の「屋根貸し」を環境局所管施設にとどめず市が所管する全施設に拡大するとともに、「市民共同発電所」事業など市民が参加する取り組みを支援する
- (エ)国保料算定方式の変更に伴い負担増となる市民に対し、更なる負担軽減措置を一般会計からの繰り入れも行き創設する

#### 4) 新たな税金の浪費につながる不要不急の大型事業は予算計上しない

- (ア)リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりの推進
- (イ)名古屋駅周辺公共空間整備（笹島地下通路の延伸）
- (ウ)名古屋城天守閣の木造復元